

ごみ処理の現状と課題

この度、パンフレット改訂版の作成にあたり、燃えるごみの組成分析を行い、平成22年度の結果と比較したところ、紙製容器包装・プラスチック製容器包装・古紙類（新聞、雑誌類、段ボール、紙パック）につきましては、皆様の分別排出へのご協力により、いずれも約4%の減少となりました。

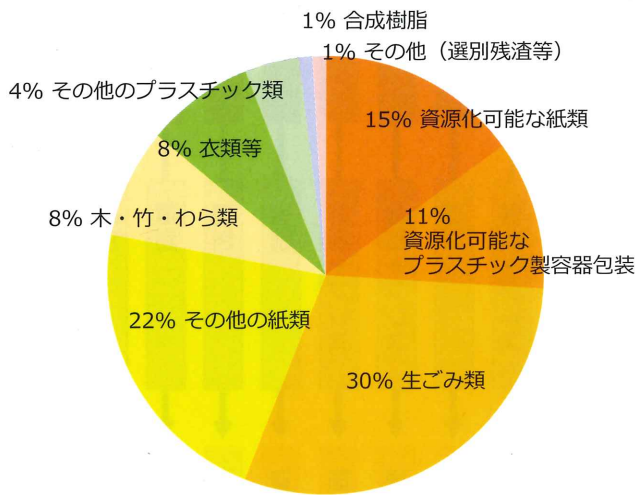
しかし、新「資源ごみ袋」に新たに追加した衣類等につきましては、燃えるごみとして多く出されており、約4.5%の増加となっております。リサイクル可能なものについては、資源ごみとして排出していただくことにより、ごみ処理手数料を含まない、安価な「資源ごみ袋」にて排出できますので、住民の皆様のご協力をお願いします。

また、生ごみ類につきましては、前回とほぼ同じ割合ではありますが、燃えるごみの約30%を占めております。生ごみは、食べ残しやまだ食べられるのに捨ててしまう食品が多く、これらは「食品ロス」と呼ばれ、現在、大きな問題となっております。また、生ごみの約80%が水分といわれていることから、工夫とひと手間でごみ減量化が可能ですので、今回、食品ロスを減らす取り組みとあわせて紹介いたします。

これからも、住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ごみの処理の現状 可燃ごみ組成分析結果より（平成29年7月実施）

組成分析の結果



資源化可能な紙類とは、

紙製容器包装、雑誌類、段ボール、新聞など

資源化可能なプラスチック製容器包装とは、

ポリ袋類、トレイ、カップ・パック類など

生活系可燃ごみ組成分析とは、

5市町村から収集した生活系可燃ごみ、約300kgを無作為に取り出した試料を、種類ごとに分別し重量と体積を求めたもの。

前回との組成割合の比較

区分	年度		
	平成22年度	平成29年度	増減
資源化可能な紙類	22	15	△7
資源化可能なプラスチック製容器包装	16	11	△5
生ごみ類	28	30	2
その他の紙類	22	22	0
木・竹・わら類	4	8	4
衣類等	3	8	5
その他のプラスチック類	2	4	2
合成樹脂	1	1	0
その他（選別残渣等）	2	1	△1



「資源化可能な紙類」分別排出の徹底

今回の組成分析の結果、資源化可能な紙類の組成割合につきましては、前回と比較すると約7%減少しておりますが、紙製容器包装である紙箱、包装紙、紙袋や、古紙類である新聞、雑誌類、段ボールなど、まだ全体の15%が分別可能な紙類であったため、さらなる分別排出にご協力ください。

種 類：紙製容器包装 排出方法：資源ごみの指定袋またはひもで十文字に束ねる 詳しくは19頁をご覧ください。				種 類：古紙類 排出方法：種類別にひもで十文字に束ねる 詳しくは18頁をご覧ください。			

「資源化可能なプラスチック製容器包装」分別排出の徹底

資源化可能なプラスチック製容器包装の組成割合につきましては、前回と比較すると約5%減少しておりますが、ポリ袋、レジ袋、トレイ、カップなど、まだ全体の11%が分別可能なプラスチック製容器包装であったため、さらなる分別排出にご協力ください。

種 類：プラスチック製容器包装 排出方法：資源ごみの指定袋 詳しくは25頁をご覧ください。				

「衣類等」の排出方法について

衣類等につきましては、平成29年4月1日の新「資源ごみ袋」導入時に、資源ごみに追加し、住民の皆様の負担軽減を図ったところですが、衣類等の組成割合は、残念ながら前回より約5%上昇という結果となりました。

資源ごみ（リサイクル）として排出することにより、ごみ処理手数料を含まない安価な「資源ごみ」の指定袋で排出が可能となりますので、皆様どうぞご活用ください。

種 類：衣類等 排出方法：資源ごみの指定袋 ※焼却を希望の場合は「燃えるごみ」の指定袋で排出してください。 詳しくは21頁をご覧ください。														

CHECK! 燃えるごみの指定袋で排出した場合と、資源ごみの指定袋で排出した場合の費用の比較

燃えるごみの指定袋で排出した場合	資源ごみの指定袋で排出した場合
大袋 45Lで1袋排出すると 1袋あたり 55.00円 です。	大袋 45Lで1袋排出すると 1袋あたり 15.35円 です。
小袋 30Lで1袋排出すると 1袋あたり 41.50円 です。	小袋 30Lで1袋排出すると 1袋あたり 11.70円 です。

結果：資源ごみの指定袋で排出した方が
大袋 45L 1袋の場合 **39.65円**お得です。年間5袋排出したとすると およそ**200円**お得です。
小袋 30L 1袋の場合 **29.80円**お得です。年間5袋排出したとすると およそ**150円**お得です。

- 廃棄物制度のしくみ
- 3R活動への取り組み
- ごみ処理の流れ
- ごみ処理の現状と課題
- ごみ処理の状況と有料化の効果
- 指定ごみ袋の種類と販売価格
- 資源とごみの分け方と出し方への案内
- 燃えるごみ
- 古紙類
- 紙製容器包装
- 衣類等
- かん類・金属類
- びん類
- ペットボトル
- プラスチック製容器包装
- 燃えないごみ
- 粗大ごみの処理の仕方
- 廃家電品の処理の仕方
- 農業空容器の回収案内
- 施設利用のご案内
- その他の回収案内
- ごみ集積所に出せないもの・受入できないもの
- よくある質問
- 資源とごみの分別辞書
- 組合からのご案内

生ごみ類の減量化

生ごみ類の組成割合につきましては、前回から約2%上昇しており、全体の約30%を占めております。
生ごみの減量化については、全国的に問題となっており、様々な取り組みがなされておりますので、主な取り組みとして、「食品ロスの減量化」と「生ごみの減量化」についてご紹介いたしますので、住民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

食品ロスの減量化への取り組み

食品ロスとは「**食べ残しなどまだ食べられるのに捨ててしまう食品**」のことです。

● 家庭では、

「買いすぎない」

- ・買い物をする前に冷蔵庫の中身を確認しましょう。
- ・ばら売り、量り売り、少量パックなどを利用して必要な量を買きましょう。

「作りすぎない」

- ・残さず、食べきれぬ量を作りましょう。
- ・調理くずと思っているものが、他の料理に使えないか考えてみましょう。
- ・必要以上に皮を厚く切っていないですか。

「食べ残さない」

- ・食べきれぬ量を皿に盛りつけ、残りは冷蔵庫で保管しましょう。
- ・残った料理を使って、他の料理に作り変える工夫をしてみましょう。

その他には

- ・食材にあった保存方法をすることで、食材を長持ちさせましょう。
- ・出された料理はきちんと食べきるよう心がけましょう。

● 外食をするときは、

- ・小盛りやハーフサイズがある場合は利用しましょう。
- ・ない場合は「量を減らせませんか？」と店員さんに相談してみましょう。
- ・苦手の食材が入っているときは、その食材を抜いてもらえないか相談してみましょう。
- ・残った場合は持ち帰りが可能か確認してみましょう。

※持ち帰りについては、条件やお互いの責任について、お店の人と十分話し合ってから行いましょう。

また、持ち帰ったものは早めに食べ、食中毒などの危険を感じたときは、食べないで廃棄しましょう。

● 宴会のときは、

- ・参加者の年齢、性別を考え、適切な量の料理を注文しましょう。
- ・3010（さんまるいちまる）運動を推進しましょう。

〈乾杯後30分間〉

⇒ 席を立たずに料理を楽しみましょう。

〈お開き10分前〉

⇒ 自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。



What's 3010 ?

宴会における大量の食品ロスを減らすため

最初の

30

分

最後の

10

分

皆で食べる時間を設けましょう。それが3010運動です。

大量の食品ロスが
重大な問題に
なっています

日本における
食品ロスは年間
約621万トン

それは世界全体の
食品援助量の
約2倍

国民一人あたりが
毎日茶碗一杯分
捨てている量に匹敵



「賞味期限」と「消費期限」の違いについて

期限切れで捨てようと思ったその食品は、まだ食べられるものかもしれません。

それぞれの期限の意味を正しく理解しましょう。

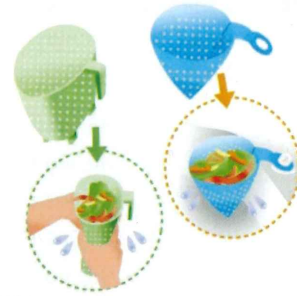
区 分	賞 味 期 限	消 費 期 限
意 味	おいしく食べることができる期限です。この期限を過ぎても、すぐに食べられないということではありません。	この期限を過ぎると食べないほうがいい期限です。
表 示 方 法	3ヶ月を越えるものは年月で表示 3ヶ月以内のものは年月日で表示	年月日で表示
対 象 の 食 品	スナック菓子、カップめん、缶詰など	お弁当、サンドイッチ、生めんなど

● **水切りを徹底する**

生ごみの80%~90%は「水分」です。まずは、生ごみの水切りでごみを減らしましょう。

■ **生ごみの水分をしっかりと絞る**

- 手でギュッと絞ってから、生ごみを捨てる習慣をつけましょう。
- 手で絞るのに抵抗がある人は、びんやペットボトルの底を利用してみましょう。
- 水切りネットを活用すると約10%の減量となります。



■ **生ごみになるものを水に濡らさない**

- 皮むきが必要な野菜や果物などは、洗う前に皮むきをしてみましょう。
- 泥の付いた野菜などは、先に洗って乾いてから皮むきをしましょう。
- 野菜や果物の皮・芯・クズなどは、三角コーナーや排水溝の受け皿に捨てない。

■ **生ごみを乾かす（自然乾燥）**

- 野菜や果物の皮・芯・クズなどを自然乾燥させることで、ごみの減量化と腐敗や悪臭を防ぐ効果もあります。



みんなで「**生ごみの水切り**」をすると、こんなにごみの量が減らせます。

平成28年度の燃えるごみの量（収集量 16,397 t + 自己搬入量 1,251 t ）		17,648 t / 年
燃えるごみのうち、生ごみ量の割合（組成分析結果）	およそ 30 %	5,294 t / 年
生ごみのうち、水分の一般的な割合	およそ 80 %	4,235 t / 年

■ **生ごみの水切り**をして、水分の割合 **80%**を

- 60 %** まで減らすと **3,176 t** となり、重量で **2,118 t**、割合で **12 %** 減らすことができます。
- 50 %** まで減らすと **2,647 t** となり、重量で **2,647 t**、割合で **15 %** 減らすことができます。
- 40 %** まで減らすと **2,117 t** となり、重量で **3,177 t**、割合で **18 %** 減らすことができます。

● **生ごみの堆肥化に取り組む**

生ごみを「有機資源」に生まれ変わらせて、家庭菜園などに「生ごみ堆肥」を役立ててみませんか？

—おもな生ごみ堆肥化の方法—

電気式生ごみ処理機	コンポスト（コンポスター）	密閉式容器	段ボールコンポスト
<p>乾燥式 バイオ式</p>			

■ **電気式生ごみ処理機（乾燥式・バイオ式）**

乾燥式は、温風などで加熱することで、生ごみの水分を蒸発させて減量し衛生化を行うもの。
 バイオ式は、温度調整、攪拌などで好気性菌が活動しやすい環境を作り出し、生ごみを堆肥化するもの。
 手軽に生ごみを処理したい。また近隣を気にせず屋内で処理したい方に向いています。（一部バイオ式は除く）

■ **コンポスト（コンポスター）**

庭や畑などにプラスチック製の円柱を埋め込み、土壌微生物により生ごみを堆肥化するもの。
 庭や畑があって堆肥づくりをしたい人や、家族が多く、生ごみがたくさん出る方に向いています。

■ **密閉式容器**

空気を遮断した密閉式の容器に生ごみを入れ、EMぼかしなどを振りかけて嫌気性菌により発酵させるもの。
 液肥を家庭菜園やガーデニングに活用したい人や、EMぼかしが容易に手に入る、自分で作れる方に向いています。
 （EMぼかしとは、EM菌を米ヌカなどに入れて、EM菌を大量に増やしたもの。）

■ **段ボールコンポスト**

生ごみを分解する基材を段ボール箱の中に入れ、手やスコップなどで攪拌することで、好気性菌により生ごみを堆肥化するもの。
 なるべく経費をかけずに、身近なもので取り組みたい方に向いています。



電気式生ごみ処理機やコンポスト購入費の一部について、補助を受けられる場合がありますので、お住まいの市町村担当窓口にご確認ください。

廃棄物制度のしくみ

3R活動への取り組み

ごみ処理の流れ

ごみ処理の現状と課題

ごみ処理の状況と有料化の効果

指定ごみ袋の種類と販売価格

資源とごみの分け方と出し方への案内

燃えるごみ

古紙類

紙製容器包装

衣類等

かん類・金属類

びん類

ペットボトル

プラスチック製容器包装

燃えないごみ

粗大ごみの処理のし方

廃家電品の処理のし方

農薬空容器の回収案内

施設利用のご案内

その他の回収案内

ごみ集積所に出せないもの・受入できないもの

よくある質問

資源とごみの分別辞書

組合からのご案内